

[C Y A P 乳 剤]

農林水産省登録 第7674号

性 状: 淡黄色可乳化油状液体

毒 性: 普通物

危 険 物: 第4類第2石油類 III

有効年限: 4 年

包 装: 500ml×20 本

住化

サイアノックス® 乳剤

有効成分: C Y A P 50.0%

殺虫剤分類 1B



「住友化学農業ガイド」の見方: i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報: こちらのQRコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

[適用と使用方法]

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	
キャベツ	アオムシ ヨトウムシ(若~中齢幼虫) タマナギンウワバ アブラムシ類	1000~1500倍	100~300ℓ	21日前	2回	
	コナガ キスジノミハムシ成虫	1000~2000倍				
はくさい	アオムシ ヨトウムシ(若~中齢幼虫) タマナギンウワバ アブラムシ類	1000~1500倍		14日前		
	コナガ キスジノミハムシ成虫	1000~2000倍				
きゅうり	アブラムシ類 アザミウマ類	1000倍		収穫開始3日前		
なす	テントウムシダマシ			前日		
ねぎ	アザミウマ類	500~1000倍		21日前		
たまねぎ				14日前		3回
いんげんまめ	マメシンクイガ フキノメイガ インゲンテントウ	1000倍		7日前		2回
あずき	マメシンクイガ フキノメイガ			21日前		
ばきらく	アブラムシ類		—	6回		

使用方法: 散布

⚠️ 効果・葉害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- アルカリ性農薬との混用はさける。やむをえずボルドー液と混用する場合は、使用直前に混合する。
- はくさいに使用する場合、幼苗期及び結球期直前は葉害を生じるおそれがあるのでさける。
- 自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意する。

⚠️ 安全使用上の注意

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤の解毒剤としては、動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されている。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 原液は皮ふに対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないように注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用する。
また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意する。
- 火気および直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (https://www.i-nouryoku.com/prod/search/ [農業ガイドの見方](#) .pdf)」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4) - D」も合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- 有機リン系殺虫剤です。
- チョウ目害虫及び吸汁性害虫であるアブラムシ類などに対し速効的に作用するが、残効は長くありません。殺卵効果もあります。